



優勝おめでとう！（撮影：村井 文明）

令和8年第2回西海市議会定例会の概要

■会期

令和8年6月12日（金）から6月26日（金）まで、15日間にわたり開催されました。

■審議・可決事項

本定例会では、令和8年度一般会計補正予算をはじめ、条例の制定・改正案、財産の取得、人事案件など、市長提出議案について慎重に審議・可決しました。議案第34号については、総務文教厚生常任委員会の所管である一方、産業建設環境常任委員会にも関連する内容であったことから、両常任委員会による連合審査を実施し、より多角的な視点から審査を行いました。

■一般質問

一般質問では15名の議員が登壇し、人口減少対策や地域公共交通、新庁舎整備、防災・減災、子育て支援、教育環境、産業振興など、市民生活に関わる幅広いテーマについて、市の考え方や今後の取り組みを質しました。

目次

定例会の概要	P1
定例会で審議した案件及び結果	P2～P3
常任委員会審査報告	P3～P5
一般質問	P5～P12
第2回臨時会の概要	P13
議会のしくみ	P13
委員会審査の様子等	P14
政務活動費実績一覧	P15
議長公務	P15
西海市議会からのお知らせ	P16
編集後記	P16

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。また、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き応募ができます。



こちらから
応募できます

令和8年第2回西海市議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	議決等年月日	議決の結果
報告第 12 号	令和 7 年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和 8 年 6 月 12 日	報告済み
報告第 13 号	長寿介護課公用車の事故に係る和解についての専決処分の報告について	令和 8 年 6 月 12 日	報告済み
同意第 9 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 10 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 11 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 12 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 13 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 14 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 15 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 16 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 17 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 18 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 19 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 20 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 21 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 22 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 23 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 24 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 25 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 26 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
同意第 27 号	西海市農業委員会委員の任命同意について	令和 8 年 6 月 12 日	同 意
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和 8 年 6 月 12 日	支障なし
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和 8 年 6 月 12 日	支障なし
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和 8 年 6 月 12 日	支障なし
議案第 33 号	財産の取得について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 34 号	第 3 次西海市総合計画基本構想の策定について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決

議案等番号	件 名	議決等年月日	議決の結果
議案第 35 号	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 36 号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 37 号	市道の路線廃止について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 38 号	市道の路線認定について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 39 号	西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 40 号	令和 8 年度西海市一般会計補正予算（第 1 号）	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 41 号	令和 8 年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 42 号	令和 8 年度西海市交通船特別会計補正予算（第 1 号）	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決
議案第 43 号	令和 8 年度西海市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	令和 8 年 6 月 26 日	原案可決

◎ 常任委員会審査報告 ◎

総務文教厚生常任委員会

審査件数 補正予算 3 件 条例 1 件 その他 1 件
計画策定 1 件

◆主な審査内容◆

議案第33号 財産の取得について 原案可決

この議案は、配備後 30 年を経過し老朽化した大島方面団真砂分団の消防ポンプ自動車を更新しようとするもの。

質疑 経過年数が 30 年ということであるが、走行距離が少なく、老朽化した外装とかポンプとかの修理で対応出来なかったものか。

答弁 部分的な修理が可能であれば、それで進めていきたいところであるが、製造から 30 年以上経っており、部品の調達等も困難であり、修理費用も高額になるため、車両を更新する。



議案第35号 西海市部活動の地域移行あり方検討委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

この議案は、「地域移行」という名称が廃止され、学校と地域双方の連携により豊かで幅広い活動の創出を目指す理念として、「地域展開」という名称に改められたことに伴い、本条例における当該名称についても同様の改正を行うとともに、一部字句の修正を行うもの。

質疑 本市の場合、これまでも「移行」というより「展開」あるいは「連携」という形で対応が進められてきたのではないかと考える。今回の文言変更はあるが、本市としては基本的にこれまでと変わらない対応を続けていくものと受け止めているがどうか。

答弁 地域に丸投げするということでは当然なく、これまでも連携を図りながら、地域が一体となって生徒の活動の場を確保していくという方向性は、今後も変わらないものと考えている。

産業建設環境常任委員会

審査件数 条例案 2 件 その他 2 件

◆主な審査内容◆

議案第36号 西海市税条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

この議案は、地方税法の改正により、市税条例の一部を改正するもの。

質疑 特定暗号資産とは何か伺う。

答弁 国民の資産形成に資する暗号資産である。現段階での国からの具体的な通知はない。

質疑 特定一般医療医薬品等とは何か伺う。

答弁 対象となる、スイッチ OCT 医薬品である。購入したレシート、領収書は確定申告に利用できる。

議案第37号 市道の路線廃止について 原案可決

議案第38号 市道の路線認定について 原案可決

この議案は、面高地区基盤整備事業による、路線の廃止と認定である。

質疑 ほ場内の農道、一般車両の通行について伺う。

答弁 耕作者優先ではあるが、通行に支障はない。

議案第39号 西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

この議案は、塔の尾団地 A 棟から C 棟の供用廃止を行うもの。

質疑 解体するとのことであるが、住宅困窮者や住みたいと考える方もいると思うが、公募はしないのか伺う。

答弁 検討したが、現場の状況を見ると難しい。今後、他の案件についても検討して行きたい。



予算決算常任委員会

審査件数 1 件

◆審査内容◆

議案第40号 令和8年度西海市一般会計補正予算(第1号) 原案可決

●補正額 2 億 1,325 万円

●補正前予算額 230 億 876 万 6 千円

●補正後予算額 232 億 2,201 万 6 千円

◆主な事業内容◆

【総務費】

◎自治会活動助成事業

物価高騰などを考慮し、自治会活動に要する経費について、これまで1世帯当たり1,500円と敬老事業経費(70歳以上)1人当たり500円の合計額を補助していたものを、1世帯当たり2,300円に変更し助成するもの。

379万4千円

◎集会所等整備事業費補助事業(省エネ化)

集会所及び公民館の照明やエアコンを省エネ設備へ変更・新設等するための補助。通常補助率

60%を今回補助率70%へ10%上乗せするもの。
2,576万7千円

◎雇用創出推進事業

瀬戸港埋立地に企業誘致が見込まれることから、環境整備を行うための事業費を計上するもの。

1億1,544万4千円

【衛生費】

◎ごみ収集処理費

令和9年度から収集方法が変更される、プラスチック類ごみ袋の製造や、有害ごみ回収場所用物置購入の必要経費を計上するもの。

971万3千円

◎焼却灰等再資源化事業

リサイクル率の向上を図るため、炭化センターの焼却灰及びリサイクルセンターのガラスくず等について、民間事業者へ再資源化委託を行うもの。

1,216万7千円

【農林水産費】

◎ながさき農業気候変動総合対策事業

気候変動に強い産地づくりを進めるため、マルチ巻上装置、アスパラガス高畝など、それぞれの組合加入者へ補助するもの。799万9千円



連合審査

議案第 34 号 第 3 次西海市総合計画基本構想の策定について 原案可決

総務文教厚生常任委員会に付託された本議案の審査については、産業建設環境常任委員会にも関連があるため、連合審査会を開催して審査を行った。

第 3 次西海市総合計画基本構想の策定については総合的かつ計画的な行政運営を図るため、令和 9 年度から令和 18 年度までの 10 年間を計画期間とする、新たな総合計画基本構想の策定について、西海市議会の議決すべき事件を定める条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

質疑 行政区の見直しについて、計画のどの分野にあたるか。

答弁 基本構想の部分では基本目標 3「安心して暮らし続けられるまちづくり」にあたる。現段階で言えることは限られるが、市民の満足度の低い部分を拾い上げ、基本計画から実行計画に移していくかが重要だと考える。担当部署にはしっかりと伝える。

質疑 第 2 次の西海市総合計画では、令和 27 年には総人口 1 万 5,799 人という数字も示されている。そのような中で、市民の幸福度をどのような観点で高めていくか伺う。

答弁 2060 年の目標人口を概ね 1 万 5,000 人程度に設定したい。生産年齢人口の高齢者を支える負担が急増すると社会全体の持続可能性が損なわれることになる。世代間の支え合いのバランスと生活機能が採算性を保ちながら、継続できる水準を想定して、人口ビジョン策定したいと考えている。



一般質問



創生会
いしざき よしのぶ
石崎 義信

QRコードで一般質問の動画が視聴できます

森林の自然環境資源を活用したサービス産業の推進について

問 小迎地区と雪浦地区にタイニーハウスを建設したが、このモデルハウスの活用について伺う。

市長 小迎地区のタイニーハウスについては、長崎西彼農業協同組合が取り組む「トレーニングファーム」の研修生用住居としての活用を協議しており、雪浦地区については雪浦ウィーク、地区のコミュニティ促進につながるイベントなどで活用できるよう検討する。

問 西海ヒノキの付加価値を高めた販売の取り組み状況について伺う。

市長 森林組合や関係機関と連携しヒノキの需要拡大に努める。

問 本市における木質バイオマス利用の取り組み状況について伺う。

市長 西彼保健福祉センター遊湯館のボイラー燃料として利用している。また、「木の駅プロジェクト」

や農業用ハウスへの薪ボイラー導入試験など、多角的な実証に取り組んだ。今後は、森林資源の循環的な利用と木質バイオマスの利用促進に継続的に取り組む。

問 「企業の森づくり」の新たな賛同企業を増やす取り組みがないか伺う。

市長 チューリッヒ保険会社および県と締結した協定に基づき森林整備を着実に進め、協定の継続を目指すとともに、新たな賛同企業の獲得に向けた働きかけを行う。

問 森林空間を活用した滞在型観光に取り組む考えはないか伺う。

市長 「クアオルト健康ウォーキング」を新たな森林サービス産業としての構築を目指す。

学校体育施設の管理について

問 体育施設の利用者から不満の声がある状況を踏まえ、管理体制と維持管理の状況について伺う。

教育長 学校と教育委員会が連携しながら安心して利用できるように努める。

崎戸さんさん元気らんどについて

問 自転車の持込みができるような利用基準を見直す考えはないか伺う。

市長 施設の安全管理等に配慮しながら自転車の利用促進に努め、子育て世代のニーズに応じる。



創生会
にしかわ かつのり
西川 勝則

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

「ゼロカーボンシティ」へのチャレンジについて

問 「本市全体のCO2排出量を2013年度数値と比較して2030年度には46%削減する」としているが、現在の目標達成状況について伺う。

市長 2013年度のCO2排出量36万9千トンと比較して44%の削減となっており、目標を早期に達成できるようチャレンジしていく。

問 市内各団体の取り組みについての評価を伺う。

市長 特に「産業部門」と「家庭部門」での削減が顕著であり、今後もさらなる削減に向け、市民及び市内事業者等との協働による取り組みを展開していく。

問 廃食油を回収し、SAFへの再利用が出来ないか伺う。

市長 全国的な回収ルートの構築がまだ整備されていない等、課題が残されていると認識している。公用車への燃料活用についても、年間を通しての供

給の難しさ等があるが、令和9年度から予定しているプラスチックごみの拠点収集方式からステーション方式へと移行する変更を確実に実行したのち、廃食油の回収などの脱炭素化に向けた新たな取り組みについて、引き続き検討していく。

一般廃棄物処理施設について

問 最終処分場整備事業の現在の進捗状況について伺う。

市長 当面の対応策として、炭化センター等から発生する焼却灰・ガラスくず・陶磁器くずを民間に委託して再資源化し、最終処分を行う廃棄物の総量を可能な限り削減していく。

新庁舎整備について

問 現在の進捗状況及び今後の進め方について伺う。

市長 庁内に検討委員会を発足し、さらに専門的な知見や他の自治体の事例など踏まえた高度な調査・検討を円滑に進めるため、外部のコンサルタントへ委託したところである。今後は、各種専門調査及び庁内検討委員会での議論を緊密に連動させ、今年度を通じて、施設の現状と課題整理、新庁舎の規模や候補地の調査、さらにPFIやリース方式など段階的に調査・検討を重ねてまいりたい。



創生会
かわぐち たかゆき
川口 隆之

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

西海橋建設の映像コンテンツ化及びフィルムコミッション活用による観光振興について

問 西海橋の建設史を題材としたテレビドラマや映画、ドキュメンタリー等の映像制作・誘致に取り組む考えがないか伺う。

市長 市単独では難しいが、県へ要望をする機会を捉え、また佐世保市や長崎県フィルムコミッションとも協議をしていきたい。



中学校部活動地域移行の移行期にかかる移動費の支援について

問 西海市中学校部活動補助金の利用は部に対し

ての補助金であり、その補助金を区域外の交通費に充てるという保護者の理解は出来ているのか伺う。

社会教育課長 中学校区を越えた移動や保護者の送迎負担は把握しており、重要な課題と認識している。部活動補助金交付要綱を改正し交通費を加算しているが、補助金から適切に配分されるよう努めていく。

問 地域の特性上、スクールバス等の移動手段での検討はなかったのか伺う。

教育次長 先進地の事例を参考にしながら、検討していく。



最終処分場の用地について

問 建設候補地は水質汚染の不安や昨今の物価高騰など住民の理解が得られず一旦中止となった。しかし、地権者は民間へ売却をせず市側へ売却を決定し覚書まで交わして今日に至っている。今後再び民間売却も考えられるが、水質汚染の不安解消に向け南海トラフ地震等の防災拠点としての購入の考えはないか伺う。

市長 関係住民の不安を解消すべく購入すべきと考えているが、検討を深めて議会とも協議したい。



創生会
かわぐち まさゆき
川口 正幸

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

現在行われている中学校部活動の改革について

問 本市は休日部活動の取り組みをどのようにとらえているのか伺う。

教育長 受皿となる認定地域クラブがないことや、指導者の確保、保護者の送迎及び経済的負担といった課題がある中で、休日部活動を停止することは、生徒のスポーツや文化芸術活動の機会を奪うリスクが高く、現時点においては、一斉に停止することは考えていない。令和9年度中の取扱いについては、新設した補助制度や認定制度により、本年度中に、認定地域クラブの受皿が、どの程度確保できるかを見極めた上で、令和9年度は、移行の準備が整った部活動から段階的に土日の活動を認定地域クラブへと展開していく期間と位置づける方針である。

問 部活動の地域移行を見据え、地域クラブの指導者として、意欲を持った教職員の意向が尊重されるよう協議や働きかけができないのか伺う。

教育長 クラブの指導に携わることが可能である点について、教育委員会として、より広く周知を図るとともに、部活動の地域展開を支援する環境整備の充実に向けて、教職員の意向も尊重しながら、指導体制の充実を図っていく。



西海市小中学校教職員の働き方改革の進捗について

問 統合型校務支援システムを導入し、教職員の業務負担軽減を図っているが、その成果について伺う。

教育長 校務DXの推進により、情報共有の迅速化、事務処理の簡素化、校務の効率化が進み、児童生徒と向き合う時間や、教材研究の時間の確保につながっているものと認識している。一方で、システム導入当初においては、新たな操作方法への習熟や、従来業務との並行運用による教職員の負担感が一時的に生じたが、運用開始から5年目を迎え、徐々にシステムにも慣れ、活用が定着してきている。



壹粒会
みやはら たつや
宮原 達也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

運転免許証を自主返納された高齢者への支援と移動手段の確保について

問 運転免許証の返納を躊躇させる最大の要因として「返納後の移動への不安」が挙げられるが、市はこの状況をどの程度把握しているのか伺う。

市長 地域包括支援センターに寄せられた相談などを通じて把握している。さらに、生活支援コーディネーターを市内5圏域に配置し地域の実情や課題把握に努めている。

問 利便性を向上させるために、スマイルワゴンの区域を越えた運行について再検討できないか伺う。

市長 運行区域を越えたサービス改善は以前から議会や地域住民の皆様からご要望が寄せられているが、運行体制や利用者の制限、地域内消費やコミュニティへの影響、さらに路線バス、タクシーなど、他の公共交通機関への影響が懸念されており困難である。

問 自主返納した高齢者に対して、タクシー利用券を交付する制度を導入できないか伺う。

市長 運転免許証の返納については、高齢者に限らず、健康上の理由により返納される方もいらっしゃることから、新たな支援策のあり方については、既存の制度との整理が必要と考えている。

問 市内の商店や宅配事業者と連携した宅配、買い物代行、移動販売などの買い物支援の仕組みづくりが検討できないか伺う。

市長 市としては買い物支援として、どこに焦点を当て施策を進めるかを含め、市全体の課題として各部署が連携し、解決に向け取り組んで行こうと考えている。



パールタウンせいひにおける交通安全対策の改善について

問 大串インター付近の交通量の増加により、感知式信号機への変更に向けて関係機関と再協議できないか伺う。

市長 現地の交通状況からも感知式信号機等の必要性は認識しており、改めて、地元行政区へ現状と意向を確認のうえ、地区要望として再度提出いただくなど、引き続き西海警察署へ働きかけていく。



西海市議会
日本共産党
ふち せ えい こ
洲瀬 栄子

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

プラスチック類の指定ごみ袋は無料もしくは低価格に

問 令和9年度からプラスチック類の収集体制が地区拠点方式からステーション方式へ変更され、指定袋による収集になる。指定袋の価格を無料もしくは低価格に抑え分別促進対策を考えられないか。

市長 無料にすることは困難であるが、もえるごみ袋より安価な料金に設定することで、これまで以上の分別を促したいと考えている。

問 住民負担軽減のため指定袋やごみ収集カレンダーに有料広告の掲載が考えられないか。

市長 ごみ分別事典であれば有料広告掲載での作成は可能と考え検討を進めている。



プラスチック類の収集体制

特別障害者手当の周知徹底を

問 唐津市のように要介護4や5の方で障がい者手帳がない人も必要な介護状態により受給できる場合があることや、有料老人ホームやグループホームも在宅扱いであることなどについて、具体的な周知がされているのか。

市長 市ウェブサイト、広報紙での周知のほか、介護支援専門員の協力を得て制度の周知徹底に務める。

保健福祉部長 必要な情報を届けるのは非常に大切なこと。介護支援専門員協議会の中で説明し協力を呼びかけた。



教育支援センターとまと教室のスペース拡大を

問 「とまと教室」のある大島離島開発総合センターには、同じ1階に利用されていない現在より1.7倍の広さがある部屋がある。移動により狭さ解消できないか。

教育長 事務室やトイレに近く児童生徒が安心して過ごせる環境が提供できることから移転に適したスペースと判断している。収容物の移転先の確保の課題解決を進め、改修箇所の詳細確認や費用試算を進めている。できる限り早期の移転を目指し準備を進める。

市長の政治姿勢について

問 現状の県との関係性をどのように捉えているのか伺う。

市長 「県は県民のため」「市は市民のため」にあると理解している。平田研知事は私が県議会議員時代に副知事を務められており、県政発展のため互いに意見を交わしてきた間柄である。

問 平田研知事就任後に一対一で挨拶はされたのか伺う。

市長 具体的な個別案件については答弁を差し控えたい。

市役所職員の指導育成について

問 現状の人事評価は適切であると考えているのか伺う。

市長 平成28年度から人事評価制度を導入してい

るが全体的に定着に至っていない現状である。確実な実施に向けて今一度厳しく指導している。

問 市外在住・通勤の市職員について改善を図っていくのか考えを伺う。

市長 令和8年4月現在、正規職員371人中、98人、割合にして26.42%が該当する職員となっている。市外在住の職員であっても地域行事への積極的な参加を通じ、地域の課題を肌で感じ、市民の皆様と対話することで、地域の担い手としての職員の意識づくりに努めたい。

松島架橋について

問 令和7年第2回市議会定例会後の市と国・県との協議状況について伺う。

市長 架橋の事業化に当たって費用対効果、いわゆるB/Cが1.0以上必要であるとの前提条件が示された。本年度、県営事業として費用対効果算出業務が実施されることとなり、地元負担額を今議会の補正予算として計上している。

GENESIS松島計画について

問 市として今後の見通しについて伺う。

市長 電源開発株式会社の社長からは地域の皆様にはご心配をおかけしているが、計画はしっかりと進めていきたいとの言葉を頂いている。



電源開発松島火力発電所



創生会
なかむら かずや
中村 和也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

鳥獣対策について

問 耐用年数を超過し、老朽化したメッシュ柵の更新の周知、改修状況について伺う。

市長 機会を通じて周知をしている。現在のところ、改修に係る具体的な相談や申請には至っていない。引き続き周知を図り、防護対策の推進に努める。

農林課長 農地以外の生活環境被害については、自治会への制度があるので、活用して頂きたい。

問 捕獲団体の高齢化も課題となっているため、



荒廃地のメッシュ柵現況

ICT活用による箱わな監視、知力・体力のある若者を担い手として育成し、持続可能・効率的な捕獲体制の構築を進めていく考えがないか伺う。

市長 本年度は、捕獲アプリの導入を計画している。捕獲位置・個体情報・写真が直接送信され、捕獲従事者の作業軽減に寄与し、先進技術の活用は、新たな担い手の確保につながると期待する。今後も捕獲団体との連携、地域捕獲隊の活動強化に努める。

人口減少対策について

問 地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化などの課題を抱える地域が、都市部から人材を受け入れ、地域活性化に取り組む制度である。スポーツ振興・子育て支援・農業の担い手等、地域が必要とする人材、本市の実情に沿った隊員の登用が図れないか伺う。

市長 毎年、6月から8月に全庁的に協力隊の導入ニーズ調査を行い、外部人材の登用を検討している。隊員の受け入れには、生活環境の変化や終了後の自立支援等、受入体制を整える必要がある。地域課題に対応できるよう検討する。



創生会
ひゃくたけ ただひこ
百岳 忠彦

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

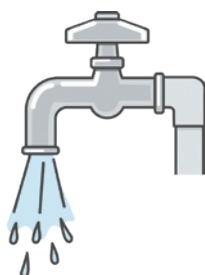
水道事業について

問 水道事業において未処理欠損金が6億5,200万円にまで拡大し経営状況が悪化した要因を伺う。

市長 要因は減価償却費の増大、水道施設老朽化による有収率低下や更新費用の増加、人件費等の高騰などで厳しい経営状況に陥っていると認識している。

問 5年毎に水道料金改定すべきところを先送りし据え置いたことが本来の要因ではないのか。

水道部長 10年間料金改定しなかったことが大きな要因であるが、5年前はコロナの影響で経済的にも疲弊した時期でもありこれも一つの要因である。



県営真砂団地の利活用について

問 解体予定の県営真砂団地を市が譲り受け、通勤可能な佐世保圏の住宅困窮者に「移住体験住宅」として提供し、従来の戸建て古民家移住政策ではない新しい移住モデルとして提供する考えはないか。

市長 県は解体に向け進めており、解体後の跡地の利用について検討を進めていく。

公共交通の再編整備について

問 「公共交通の再編整備について」今年度の取り組みについて伺う。

市長 地域公共交通の空白地域解消に向けた国土交通省の補助事業（プロジェクト）に民間事業者（十八親和銀行、東京海上日動、長崎トヨペット、みずほ銀行など）と市が協働で「公共交通網整備」および「持続可能な交通環境」の整備を目指していく。

問 路線バスが他地区と比較し地理的に充実している大崎地区における推進方針について伺う。

市長 実証モデルとして大崎地区を対象に路線バス、スクールバス、スマイルワゴン、タクシーの運行状況を分析し、地域のニーズと利便性を考慮した総合的な運行計画を作成することで効率的かつ持続可能な交通体系の構築を目指していく。



新政会
たにぐち まさき
谷口 雅樹

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

地域コミュニティの活性化に向けた課題 と取り組みについて

問 市は、現在の地域コミュニティの状況やその必要性をどのように認識しているのか伺う。

市長 地域コミュニティが維持されることで、災害時の迅速な避難誘導や、地域の見守りによる防犯・事故防止につながるものと考えます。また、良好な人間関係は、市民の心身の健康増進や孤立死の防止など、誰もが安心して暮らせる環境作りに寄与するものと考えます。さらに地域の伝統行事などを通じた世代間交流は、子どもたちの健全な育成はもとより、故郷に対する誇りと愛着を育み、ひいては定住促進やまちの活性化といった好循環をもたらすものと期待しています。地域コミュニティは決して失ってはならない本市の基盤であると考えます。

問 地域コミュニティの希薄化が課題となっている中、本市の取り組みとして、令和元年度から「は・あ・と・ふ・る運動」が実施されている。市のホー

ムページでは学校や家庭、地域と一緒に取り組み、「市民に根差した運動」として、推進する方針が示されているが、現在の成果と課題、及び「市民に根差した運動」として現状をどのように認識しているのか伺う。

教育長 は・あ・と・ふ・る運動は「郷土を誇りに思い、郷土を愛する子どもを育てること」、「西海市に育つ子どもだけでなく、大人も子どもと一緒に育つ」ことを目的としている。令和5年度より西海市社会教育委員の会が企画・運営を行っていた「生涯学習のつどい」の名称を「は・あ・と・ふ・る運動推進大会」と改称して開催している。市民への認知度については、目的や内容までは十分に浸透していない課題があると認識しており、今後は積極的に周知活動を行い、市民の皆様一人ひとりのご理解と自発的な行動を促すことで、全市的な機運醸成に努める。



志政会
うちだ まさき
打田 清

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

西海ふるさと便事業について

問 当初は新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として始まった事業であったが、後には西海市産品の販売拡大に大きく繋がった。そこで、西海ふるさと便事業の今後について市長の見解を伺う。

市長 本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済対策の一つとして令和2年度から開始され、令和4年度をもって一旦終了したが、生産者及び消費者から継続を望む声が多く、その後は制度を見直しながら継続し、令和8年2月28日をもって一旦休止した。しかしながら、休止後も事業者の皆様からの継続の要望が寄せられてお



西海ふるさと便事業

り、また、本市の特産品の販売をより促進する観点からも、事業の意義を再検討した結果、再開したいと考える。

問 これまで本事業が期間が限定的になっているので、通年で実施出来ないか伺う。

市長 財政的な考慮をしなければならないが、期間を限定するか、あるいは通年として実施するか深く検討すべきところだと思っている。

熱中症対策について

問 人命が危ぶまれるような暑さが続く中、「熱中症特別警戒アラート」の発表に至っていない。そこで、国に対し「熱中症特別警戒アラート」の発表基準の見直しを訴えることが出来ないか市長に伺う。

市長 「熱中症特別警戒アラート」は広域的に過去に例のない危険な暑さとなり、熱中症による人の健康に対する重大な被害が生じるおそれがある場合に発表されるもの。令和6年の運用開始以降、これまで一度も発表されたことはない。このため昨年度、環境省の「熱中症対策に関する検討会」において、基準の見直しに関する提案があり、同省では「熱中症特別警戒情報等に関するワーキング・グループ」を設置し、検討した。その結果、本年度における発表基準については、標高が高い観測地点を対象から除外し実態に即した形で情報を発表することになっており、13県24の観測地点が除外され、長崎県では雲仙岳が対象外となった。



新瀧の風
かたやま ともひろ
片山 智弘

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

人口減少を見据えた市政運営について

問 人口減少が進行する中、人口ビジョンをどのように設定し、行政サービスの充実や維持をどのように目指していくのか伺う。

市長 2060年の人口目標を概ね1万5,000人程度に設定したいと考えており、人口減少そのものを前提とした地域社会と行政サービスの在り方を検討する。

地域振興部長 自治会運営費補助金に係るアンケート調査の中で意見の吸い上げを実施したい。

問 本年度は西海市公共施設等総合管理計画が改定予定であるがどのような方向性で取り組むのか伺う。

市長 各担当課等の意見 行政区あたりの住民数等を聴取しながら、施設の

廃止や統合、複合化等も含めて検討を進めていく。

問 西海市の財政についてどのような認識か伺う。

地区名	戸数(世帯)	住民数(人)	1戸あたり住民数	面積(㎡)	1戸あたり面積(㎡)
西海地区	15	7,636	509.1	68.49	4.6
西海地区	12	6,280	523.3	67.27	5.6
大瀬戸地区	30	4,703	156.8	78.82	2.6
大瀬戸地区	15	4,426	295.1	13.33	0.9
瀬戸地区	12	969	80.8	14.12	1.2

市長 極めて厳しい状況であろうかと思う。

図書館機能の集約化について

問 図書館の集約化とともにカフェ併設型図書館についての検討ができないか、市の見解を伺う。

教育長 本市に合った図書館のあり方について、多角面の研究や検討を進めて行きたい。

問 新庁舎整備計画に併せ検討できないか伺う。

市長 議員のアイデアは、非常に貴重なものと受け止めている。今後の庁舎建設における本格的な検討プロセスの中で参考とする考えである。

各使用料等の見直しについて

問 使用料等の見直しについてどのようなスケジュールや方向性で進めていくのか伺う。

市長 使用料等見直し方針案を8月に行政改革推進委員会へ諮問、その答申をもとに料金を試算し原則として12月議会に条例改正案を提出し、来年4月1日の施行を予定している。

地方公務員の兼業・副業について

問 本市における地方公務員の兼業・副業についてどのような検討や取り組みが行われてきたのか伺う。

市長 県内自治体の実績や対応状況について意見交換を行うなど、今後の兼業許可の在り方について検討を重ねてきた。今後、制度構築を進める。



新瀧の風
とら よしひこ
戸浦 善彦

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

山林火災時の消火設備等について

問 山間部での山林火災に備え、市内全域の老朽化した消火設備等の改修及び新規増設の対応策を伺う。

市長 3基の改修と3基の増設を計画している。

閉鎖性海域の水質改善に向けた対策について

問 近年の異常気象の中、伊ノ浦瀬戸におけるワカメが初めて成長不良となり、地元の漁師が大変困っている。水質改善に向けた対策について伺う。

副市長 大村湾の水質改善については、県でも以前から取り組んでいると聞いているが、再度、県に取り組んでいただくよう働きかけていきたい。

指定ごみ袋について

問 中東情勢の影響により、全国各地で自治体の

指定ごみ袋が不足する事態が発生すると聞いている。今後、本市でも影響が生じる可能性はないのか伺う。

市長 在庫を確保しており、今後の作成も可能である。

水道水資源の確保のために、伊佐ノ浦ダムの目的外活用について

問 以前より、水道水資源の確保のために、伊佐ノ浦ダムの目的外活用について一般質問で提案しているが、改めて、検討できないか伺う。

市長 現在の水源で市内の水需要は十分に賄えており、伊佐ノ浦ダムを直接水源として利用することは現段階では考えていない。

戦争遺構の保存活用について

問 保存活用していくべきかと考えるが、市の見解を伺う。

教育長 ふるさと発見講座や、西海学、土曜学習といった既存の学習機会を活用し、戦争遺構を用いた平和学習の一環としての取り組みを進めていく。



針尾無線塔ライトアップ



創生会
すぎやま せいじ
杉山 誠治

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

市道・農道・林道における防災対策について

問 雨季前に、防災対策として、市道・農道・林道のパトロールが必要だと思われるが、点検を実施し、対策を講じたのか伺う。

市長 職員及び会計年度任用職員により実施している。

熱中症対策について

問 熱中症対策について、市が管理する公園、社会体育施設及び学校施設において冷水を補給できる給水スポットはどの程度整備されているのか伺う。

市長 市内の公園、社会体育施設及び学校施設においては、冷水機やウォーターサーバーなどの給水スポットは設置していないが、多くの公園や社会教育施設、社会体育施設、庁舎などには自動販売機を設置している。熱中症対策については、まずは自助

による、個人の予防行動の実践が基本であるため、施設の利用に応じて、各自で飲物を準備していただくなどの対応が必要になるものと考えている。

西海ふるさと便事業について

問 西海ふるさと便事業について、現在は実績として冬季限定の事業となっているが、通年または四季ごとや年複数回の実施ができないか伺う。

市長 市外の方にも対象を拡大して再開したいと考えている。また、事業の実施状況を見ながら、来年度以降、通年で実施するのか、あるいは期間を限定して実施するかについて慎重に判断する。

養殖水産業の振興について

問 高品質なノリやウニを安定的に通年生産できる、陸上養殖を推進できないか伺う。

市長 陸上養殖には、施設整備に係る初期投資に加え、多大なコストを要する課題がある。事業化に当たっては、採算性の確保を重視した慎重な事業計画が求められる。まずはコストを抑えられる海面養殖を推進することで、安定した経営につなげることが重要であると考えている。今後は、海面養殖によるもうかる漁業を目指す意欲的な漁業者に対し、県や関係機関と連携しながら支援してまいりたい。



壱粒会
ひらい みつひろ
平井 満洋

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

長崎オランダ村について

問 平成28年3月28日に「市有財産使用貸借契約書」が締結され、10年間の無償貸与とされていた期間が、令和8年3月末をもって終了している。今後、旧長崎オランダ村Bゾーンをどのように活用していこうと考えているのか伺う。

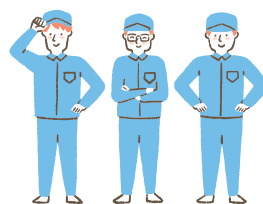
市長 契約期間の満了後も訴訟が係属しており、相手方による占有が継続している状況にあることから、今後の活用について検討する上では、まず、訴訟の終結を待ち、その後、施設の現況を精査した上で行う必要がある。

水道施設管理業務の委託について

問 令和8年2月27日に、大島崎戸地区水道施設維持管理業務委託の入札が行われており、4者での指名競争入札により、予定価格1,318万円に対して、

680万円で落札されていた。予定価格の半額に近い落札金額であるが、業務委託の品質に問題はないのか伺う。

市長 落札後に、事業者から見積書を徴取し、市の設計書との比較及び検証を行ったところ、業務の実施に支障がない体制は確保されているものと考え。委託業務については、これまでと同様に厳格に指導監督を行っている。



地区要望書に対する対応について

問 令和7年度における各行政区長からの地区要望件数は64件提出されており、そのうち、27件が市道等の道路に関する要望書であったが、どのような計画で実施されるのか伺う。

市長 市道等に関する要望や相談があった際には、通常、建設課職員が現地立会いを行っている。要望書の提出が必要な案件については、区長に対して、その必要性を説明し、要望書の受付後に、対応方針を決定した上で、行政区への回答を行っている。



令和8年第2回西海市議会臨時会の概要

■会期 令和8年5月11日（1日間）

■審議・可決事項 本臨時会では報告11件、同意1件の計12件の議案について審議が行われ、結果については下表のとおりです。

議案等番号	件名	議決等年月日	議決の結果
報告第1号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第2号	西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第3号	令和7年度西海市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第4号	令和7年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第5号	令和7年度西海市介護保険特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第6号	令和7年度西海市水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第7号	令和7年度西海市工業用水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第8号	令和7年度西海市下水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	令和8年5月11日	承認
報告第9号	令和7年度西海市水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	令和8年5月11日	報告済み
報告第10号	令和7年度西海市下水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	令和8年5月11日	報告済み
報告第11号	西彼杵広域農道物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	令和8年5月11日	報告済み
同意第8号	西海市教育委員会教育長の任命同意について	令和8年5月11日	同意

特集：議会のしくみ

第5回「委員会ってなに？」

過去の回も
ご覧ください



【議案の審査】

- ・ 予算決算常任委員会
- ・ 常任委員会

【議会を支える】

- ・ 議会運営委員会
- ・ 広報広聴委員会

【必要に応じて設置】

- ・ 特別委員会

総務文教厚生常任委員会

総務部、企画部、地域振興部、保健福祉部、医療長寿部、会計課、教育委員会、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項など

産業建設環境常任委員会

市民環境部、産業振興部、建設部、水道部及び農業委員会の所管に属する事項

議案を少人数で詳しく審査する場です

全ての議案は、全議員が出席する本会議に提出され、その後、委員会で詳しく審査します。

西海市議会には、「総務文教厚生常任委員会」と「産業建設環境常任委員会」があり、議員はどちらか一つに所属し、担当する分野ごとに議案を審査します。また、議長を除く全議員で構成する「予算決算常任委員会」では、市の予算や決算を審査します。

常任委員会で十分に審査した結果は、再度、本会議に諮られ、最終的な採決が行われます。

このほか、議会の日程などを協議する「議会運営委員会」、議会だよりの編集や「市民と議会のつどい」を担当する「広報広聴委員会」、特定の課題を調査・研究する「特別委員会」があります。



委員会審査の様子等

◎予算決算常任委員会

この委員会には、議長を除く 15 名の議員が委員として入ります。3 月に開催される定例会では来年度予算を審議し、9 月に行われる定例会では前年度決算を審査します。その他に開催される定例会や臨時会でも補正予算が提案されることがほとんどでありその都度、審査・質疑を行います。まず、歳入・歳出それぞれについて理事者から説明があった後、質疑を行います。



◎総務文教厚生常任委員会

この委員会は「総務部」「企画部」「地域振興部」「保健福祉部」「医療長寿部」「会計課」「教育委員会」「選挙管理委員会」「監査委員」の所管に属する事項が所管となっており、他の常任委員会の所管に属しない事項を含めそれぞれの議案について審議しています。現在 8 名の委員で構成されており、うち 5 名が 1 期目の議員です。産業建設環境常任委員会と比較して審査内容が多岐にわたり、また議案数が多いことも特徴です。スポーツや消防に関することや市交通船なども当委員会の審査事案となっています。



◎産業建設環境常任委員会

この委員会は「市民環境部」「産業振興部」「建設部」「水道部」「農業委員会」に関する事項が所管となっており、それぞれの議案について審議しています。現在 7 名の委員で構成されています。審査する議案数は総務文教厚生常任委員会と比較して少ないですが、市民の皆様の生活にとって身近な、上下水道やゴミ処理といったことは当委員会で審査されます。また、市道・林道等の道路や一次産業に関することも当委員会の審査事案となります。



◎連合審査会

この委員会は昨年の議員改選後、初めて開催されました。今回は「議案第 34 号第 3 次西海市総合計画基本構想の策定について」を審査するため開催されました。当議案は総務文教厚生常任委員会が所管ですが、総合計画は今後 10 年間の市全体の計画であり、その構想は計画を立てるに当たっての目指すべき将来像・基本目標となるため、産業建設環境常任委員会の委員も入って審査を行いました。採決に当たっては、所管委員会である総務文教厚生常任委員会の委員のみで行われました。



令和7年度 政務活動費収支実績一覧

(単位：円)

会派名	創生会	西海市議会 日本共産党	新濤の風	志政会	壹粒会	新政会
収入						
① 政務活動費交付金	1,320,000	165,000	330,000	165,000	330,000	330,000
② その他	0	0	0	0	0	0
③ 計 (①+②)	1,320,000	165,000	330,000	165,000	330,000	330,000
支出						
④ 調査研究費	443,586	0	139,100	0	0	0
⑤ 研修費	779,996	0	188,134	18,130	191,740	196,108
⑥ 広報費	0	81,854	0	0	0	0
⑦ 広聴費	0	78,549	0	0	0	0
⑧ 要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
⑨ 会議費	0	0	0	0	0	0
⑩ 資料作成費	75,280	4,900	0	18,081	0	32,040
⑪ 資料購入費	0	0	0	0	0	0
⑫ 人件費	0	0	0	0	0	0
⑬ 事務所費	0	0	0	0	0	0
⑭ その他	0	0	0	0	0	0
⑮ 計 (④～⑭)	1,298,862	165,303	327,234	36,211	191,740	228,148
⑯ ⑮のうち、政務活動費計 (④～⑬)	1,298,862	165,303	327,234	36,211	191,740	228,148
⑰ 残額 (③-⑯)	21,138	▲ 303	2,766	128,789	138,260	101,852
⑱ ⑰のうち、政務活動費返還額 (①-⑯)	21,138	0	2,766	128,789	138,260	101,852

西海市議会会派一覧

会派とは、市政に対して同じ考え方や意見を持つ議員が集まったグループのことで、政務活動費は会派ごとに支給されます。なお、西海市議会では1人でも会派を結成できます。

会派名	会 員
創 生 会	西川 勝則
	杉山 誠治
	荒木 吉登
	百岳 忠彦
	石崎 義信
	中村 和也
	川口 正幸
	川口 隆之
西海市議会日本共産党	淵瀬 栄子
新濤の風	片山 智弘
	戸浦 善彦
志 政 会	打田 清
壹 粒 会	平井 満洋
	宮原 達也
新 政 会	浅川 容行
	谷口 雅樹

※会派の順番は届出順です。



議長の公務（主なもの）

2月27日	令和7年度西海市表彰式
3月1日	令和7年度長崎県立西彼農業高等学校卒業証書授与式
4月9日～10日	令和8年度長崎県市議会議長会定期総会
5月26日	令和8年度西海市戦没者追悼式



長崎県市議会議長会定期総会で挨拶する荒木議長

西海市議会からのお知らせ

西海市のホームページから、西海市議会に関する各種情報を公開しています。
定例会の日程や結果、会議録検索など最新の情報をご覧ください。

●議会中継を動画配信しています。

市のホームページから、または、右の二次元コードからアクセスいただくと、一般質問などの映像をご覧ください。

ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2週間程度でいただけます。



西海市議会
映像配信

●議会会議録を公表しています。

市のホームページから、または、右の二次元コードからアクセスいただくと、平成17年5月以降に開催された定例会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などから検索して、閲覧することができます。



西海市議会
会議録検索
システム

●西海市議会の本会議を傍聴してみませんか？

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

1：場所 本会議場（西海市役所本庁舎3階）

2：人数 60人まで

3：受付場所：本会議場前傍聴受付

・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。

・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

本誌にみなさまのお声をお聞かせください。

西海市議会だよりでは、「読者の声」を募集しています。

皆様のご意見は、一部を掲載し、今後の議会だよりの参考にさせていただきます。



こちらから応募できます

編集後記

西海の美しい真夏の海風が吹く中、感謝申し上げ今号をお届けさせていただきます。

議員歴13年の昨年度の冬、岩手県花巻市へ研修視察に、行かせていただきました。

花巻出身の宮沢賢治「雨ニモマケズ」は、病床にあった彼が他者の苦しみに寄り添い、無欲で謙虚に生きる理想の人間像と、自らを戒め前を向く強い「祈り」と「覚悟」を綴った作品です。

雨や風、雪や暑さといった厳しい自然や過酷な現実にも屈せず、常に穏やかで冷静であるという、心身の強さと自己鍛錬の姿勢を表しています。

最後に一句

引き揚げし ゼロ戦の翼（よく） 晩夏光
（戸浦善彦 委員）



さいかい
市議会だより No.81

令和8年8月5日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷 2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は
環境に配慮し再生紙と、揮発
性有機化合物（VOC）の発
生を低減できる植物油イン
キを使用しています。